

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成18年8月17日(2006.8.17)

【公表番号】特表2006-513141(P2006-513141A)

【公表日】平成18年4月20日(2006.4.20)

【年通号数】公開・登録公報2006-016

【出願番号】特願2004-530000(P2004-530000)

【国際特許分類】

C 0 7 K 5/02 (2006.01)

C 0 7 K 5/117 (2006.01)

C 0 7 K 7/02 (2006.01)

C 0 7 K 7/06 (2006.01)

C 1 2 P 21/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

A 6 1 K 45/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/04 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/28 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 5/02 Z N A

C 0 7 K 5/117

C 0 7 K 7/02

C 0 7 K 7/06

C 1 2 P 21/02 B

A 6 1 K 37/02

A 6 1 K 45/00

A 6 1 P 1/04

A 6 1 P 7/02

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 25/28

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 35/04

A 6 1 P 37/02

【手続補正書】

【提出日】平成18年7月3日(2006.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

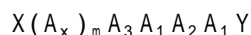
【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】



(式中、 A_1 は、D-もしくはL-システイン(C)、又はD-もしくはL-バリン(V)であり；

A_2 は、D-又はL-アスパラギン酸(D)であり；

A_3 は、D-もしくはL-フェニルアラニン(F)、又はD-もしくはL-トリプトファン(W)であり；

A_x は、グルタミン酸(E)、アスパラギン酸(D)、グリシン(G)およびシステイン(C)からなる群から選ばれたD-又はL-アミノ酸であり；

Xは、前記配列のN-末端側鎖を表して、水素または1～6個のD-もしくはL-アミノ酸またはそれらのアナログを含む残基であり；

Yは、前記配列のC-末端側鎖を表して、-OH、または1～11個のD-もしくはL-アミノ酸またはそれらのアナログを含む残基であり；

XとYは、一緒になって環状系を形成し得る)

によって示されるペプチドの誘導体であって、

XとYの少なくとも1つまたはX+Yが基 $R^1-(Z)_n$ -によって置換されていることを特徴とするヒトP-セレクトインに対する親和性を有する化合物；

(式中、Zは、-CO-であり、

R^1 は、

a) 少なくとも1個のC-原子が窒素原子によって置換されている($C_2 \sim C_8$)アルキル基

；

b) -OH及び-COOHから選ばれる少なくとも1個の基によって置換され得る($C_6 \sim C_{14}$)アリール基；

から選ばれ；

mおよびnは、個々に、0および1から選ばれる整数である)。

【請求項 2】

A_x がD-もしくはL-グルタミン酸(E)またはD-もしくはL-アスパラギン酸を示し、

A_1 がD-またはL-バリン(V)を示し、

A_3 がD-またはL-トリプトファン(W)を示し、

YがD-またはL-リシンを含む残基であり、

R^1 が、未置換フェニルまたは請求項 1 において定義したような少なくとも1個の置換基で置換されたフェニルであり、

mが0であり、Zが-CO-であり、ZがD-またはL-グリシンまたはアミノ酪酸スパーサーを介してYに結合されている、請求項 1 記載の化合物。

【請求項 3】

nが0であり、 R^1 が3,4,5-トリヒドロキシフェニルカルボニルまたは3,5-ジカルボキシフェニルカルボニルである、請求項 1 又は 2 記載の化合物。

【請求項 4】

Xがアミノ酸を含まず、YがD-またはL-リシンを含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか1項記載の化合物。

【請求項 5】

環状または束縛主鎖構造体を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか1項記載の化合物。

【請求項 6】

請求項 1 ～ 5 のいずれか1項記載の化合物を1種又は2種以上と、製薬上許容し得る担体または賦形剤を1種又は2種以上含む組成物。

【請求項 7】

薬物ターゲティング剤および/または生体利用増強剤をさらに含む、請求項 6 記載の製薬組成物。

【請求項 8】

医薬または診断薬としての請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の化合物の使用。

【請求項 9】

慢性炎症性疾患、リウマチ様関節炎、炎症性腸疾患、多発性硬化症、アテローム性動脈硬化症、再狭窄、虚血、腎不全のような再灌流障害、腫瘍転移、細菌性敗血症、播種性血管内凝固症候群、成人呼吸ストレス症候群、卒中、脈管形成、移植片拒絶反応、血栓症または循環性ショックの治療、予防または診断用医薬の製造における、請求項 1 ~ 5 のいずれか 1 項記載の化合物の使用。